

ブルーノ・タウト&井上 房一郎

アントニン&ノエミ・レーモンド

剣持 勇

ジョージ・ナカシマ

イサム・ノグチ

資料配布 (4)



George  
NAKASHIMA



ニューチェア(右)  
1955(1992)  
武蔵野美術大学美術館・図書館  
ニューチェア・ロッカー(左)  
1955(1970)  
桜製作所



あかり16A  
1952  
飛騨・世界生活文化センター



Isamu  
NOGUCHI

新スタジオ内観  
1963  
撮影:高藤さたむ

Fusaichiro  
INOUE



BrunoTAUT



Antonin & Noemi  
RAYMOND



卵殻鍍錫角形シガレット入れ  
1935  
群馬県立歴史博物館

# モダン デザイン

が結ぶ暮らしの夢

## 生活デザインをめぐる5つの道

開館時間 午前9時30分～午後5時(発券は午後4時30分まで)  
休館日 毎週月曜日(但し、7月15日(月)・8月12日(月)は開館、7月16日(火)・8月13日(水)は閉館)  
観覧料 一般1,000円 / シルバー(65歳以上) 900円 / 小中高校生500円 ※20名以上の団体は100円引

主催 東北歴史博物館  
後援 多賀城市 / 多賀城市教育委員会 / 多賀城市観光協会 / 多賀城・七ヶ浜商工会 / (M) (K) 仙台放送局 / NHK放送 / ミヤギテレビ / TBC東北放送 / KHB東日本放送 / エフエム仙台 / 河北新報社 / 朝日新聞仙台総局 / 毎日新聞仙台支局 / 読売新聞東北総局 / 産経新聞社東北総局 / 宮城ケーブルテレビ株式会社  
企画協力 株式会社キュレイターズ

2019 7/13 土  
▶ 9/1 日

東北歴史博物館  
TOHOKU HISTORY MUSEUM  
JR東北本線「国府多賀城駅」となり / 三陸自動車道路「多賀城IC」から約5分



# モダン デザイン

が結ぶ暮らしの夢

1928年、初の国立デザイン研究機関として仙台に工芸指導所が開設されると、1933年に来日中のブルーノ・タウト(1880-1938)が顧問として招かれ、剣持勇(1912-1971)らの指導にあたります。同年建築家アントニン・レーモンド(1888-1976)と群馬県高崎の実業家、井上房一郎(1898-1993)

の交流がはじまります。翌年、井上はタウトを高崎に迎え、井上の経営する家具工芸店「ミラテス」でタウトデザインの工芸品を販売します。1934年、来日したジョージ・ナカシマはレーモンドの事務所に入所し仕事を手伝うようになります。1950年、来日したイサム・ノグチは剣持勇の紹介により工芸指導所をアトリエに慶應義塾大学萬來舎の家具や彫刻を作るとともに、剣持勇がジャパニーズ・モダンを生み出すきっかけとなります。

同時代に世界、そして日本各地で、モダンデザインに託して、よりよい暮らしの実現を夢見た人々の交流がありました。世界的な建築家やデザイナーが、日本建築や意匠に機能性を見いだしたまなざしと、椅子や電気照明に代表されるモダンデザインを風土になじませようとする日本の工芸関係者のまなざしとは、重なり合うものでした。モダンデザインという同じ苗床から芽吹いた夢は、どのように育ち、受け継がれてきたのか。日本的なモダンデザインの誕生に関わった人々の活動を通して、よりよい暮らしを探求した道筋をたどります。



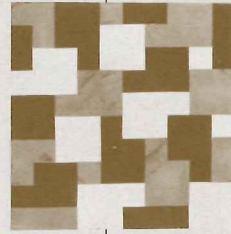
【ノエミ・レーモンド】  
赤星四郎別邸椅子  
1931年  
レーモンド設計事務所



【イサム・ノグチ】  
おおかめ  
1956年  
草月会(千葉市美術館寄託)

## 生活デザインをめぐる5つの道

Modern Design



【井上房一郎】  
幾何学模様漆塗り盆  
1932年頃  
個人蔵



【ブルーノ・タウト】  
テールスタンド(ランプ)  
1933年(1984)  
仙台市博物館

展示の構成

第1章 ブルーノ・タウトと井上房一郎たち  
——「ミラテス」を中心に



第2章 アントニン&  
ノエミ・レーモンド



第3章 剣持勇の  
「ジャパニーズ・モダン」



第4章 ジョージ・ナカシマと  
讃岐民具連



第5章 イサム・ノグチの  
「萬來舎」とあかり



イラスト:杉原有紀



【剣持勇】  
スツール  
1961年  
松戸市教育委員会



【ジョージ・ナカシマ】  
デザイン:ノエミ・レーモンド  
聖ボール教会椅子  
1935年頃  
複製作所

関連行事 展示解説 毎週水曜日 午前11時から



【交通案内】

- JR線をご利用の場合  
JR東北本線「国府多賀城駅」となり(仙台駅から14分)  
JR仙石線「多賀城駅」から徒歩25分またはタクシー約10分
- お車をご利用の場合  
仙台東部道路「仙台北IC」から約10分  
三陸自動車道路「多賀城IC」から約5分  
国道4号線若竹インターから国道45号線を塩釜方面に8km(約24分)  
仙台北フェリーターミナルから約15分  
無料駐車場(191台・大型バス10台)

東北歴史博物館  
TOHOKU HISTORY MUSEUM

〒985-0862 宮城県多賀城市高崎1-22-1  
Tel.022-368-0106 Fax.022-368-0103 <http://www.thm.pref.miyagi.jp/>

この印刷物は、  
再生紙を使用しています。

